

第27回学都仙台コンソーシアム定期総会議事録（要旨）

1. 日時

令和元年6月19日（水）10時30分～11時26分

2. 場所

仙台国際ホテル 2F 平成の間（仙台市青葉区中央4丁目6番1号）

3. 出席者

28会員機関（出席者の役職名・氏名は＜別紙＞資料参照）

石巻専修大学、尚絅学院大学、聖和学園短期大学、仙台赤門短期大学、仙台白百合女子大学、
仙台青葉学院短期大学、仙台大学、東北学院大学、東北工業大学、東北生活文化大学・
東北生活文化大学短期大学部、東北大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北医科薬科大学、
放送大学宮城学習センター、宮城学院女子大学、宮城教育大学、宮城大学、仙台高等専門学校、
仙台商工会議所、一般財団法人東北多文化アカデミー、一般社団法人みやぎ工業会、
国立研究開発法人理化学研究所、仙台市、宮城県
（委任状）東北芸術工科大学、宮城誠真短期大学

4. 定足数の確認等

事務局より、本会規約により本総会は成立する旨の報告があった。また、代表者変更のあった東北学院大学の太西晴樹学長、東北生活文化大学・同短期大学部の佐藤一郎学長、一般社団法人みやぎ工業会の畑中得實理事長、及び今年度から入会した仙台赤門短期大学の佐竹正延学長の紹介と挨拶があった。

5. 議長選出

規約第14条第5項に基づき、平川会長を議長に指名した。

6. 議事録署名人の選出

規約第17条第1項に基づき、尚絅学院大学の合田学長、東北生活文化大学・同短期大学部の佐藤学長を議事録署名人に選出した。

7. 議事

第5号議案 令和元年度各事業部会長の指名（案）について

議事進行上、第5号議案を先に審議することとし、令和元年度事業部会の部会長の指名について、事務局より配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。また、新部会長となられた単位互換部会の武田部会長と復興大学部会の小祝部会長より挨拶があった。

第1号議案 平成30年度事業報告について

平成30年度事業報告について、事務局及び各事業部により配付資料に基づき説明が行われ、審議の

結果、原案のとおり承認された。

第2号議案 平成30年度収支決算及び特別会計収支決算について

平成30年度収支決算及び特別会計収支決算について、初めに事務局より、続いて復興大学部会の小祝部会長より配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

第3号議案 平成30年度監査報告について

平成30年度監査報告について、仙台白百合女子大学の矢口監事より、配付資料に基づき説明が行われ、事業及び収支決算については正確かつ適切に処理されていることを認めた旨の報告がなされ、承認された。

第4号議案 令和元年度運営委員会委員の変更選出（案）について

令和元年度運営委員会委員の変更選出について、事務局より配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

8. 報告事項

(1) 各事業部会の活動報告について

【単位互換部会】

武田部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・「学都仙台単位互換ネットワークに関する協定書」の改正を行った。仙台赤門短期大学の入会及び東北医科薬科大学の名称変更に伴う附則の改正。
- ・令和元年度前期の単位互換ネットワーク履修科目について、履修者数が238人と、昨年度総数193名に比べても45名増加している。

【サテライトキャンパス部会】

岡部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・令和元年度サテライトキャンパス公開講座の開講予定コマ数は、前期20講座、後期18講座を予定しており、後期については追加募集を行っている。
- ・サテライトキャンパス公開講座の受講者は、例年中高年層が大半を占めているが、今年度は若年層の取り込みをはかるため、高校生に参加呼び掛けを行う(県内各公私立高校へPDFでポスターを送付するため、新たな経費は不要)。

【広報部会】

藤王部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・令和元年度継続事業として、①ホームページの更新・充実②広報サポートスタッフ活動の支援③学都仙台コンソーシアムフリーペーパー(G.S.C.)の発行④コンソーシアムリーフレットの作成⑤オープンキャンパスを利用した広報活動の実施を予定している。
- ・ホームページのスマートフォン対応版の完成は7月末から8月を予定している。

【企画部会】

千葉部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・令和元年度事業計画として、①教員免許状更新講習システム共同事務サーバーの運用②FD・SDに関するワークショップ、シンポジウムの情報公開およびFD研修会の開催③全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム参加(8月31日・9月1日 熊本学園大学)④イオンモール雨宮の施設活用の検討を予定している。
- ・各加盟機関に対し、所属する教職員が参加可能なFD・SD研修等の開催情報の提供依頼を行った。
- ・上記④については、リカレント教育等を企画・検討中である。

【復興大学部会】

石川部会長から、配付資料に基づき、活動報告がなされた。

- ・令和元年度は継続事業として、①復興人材育成教育事業②教育復興支援事業③企業支援ワンストップサービス事業④災害ボランティアステーション事業を予定している。
- ・復興人材育成教育事業についてはパンフレットに基づき説明があり、県民講座が6月22日から開始される予定。

(2) その他

- ①川上運営委員長より、配付資料に基づき、第26回学都仙台コンソーシアム定期総会において報告された「3.11 震災伝承に関する提言書についての依頼」について、コンソーシアムからの緊急提言「産学官民による震災伝承推進体制の早期構築を！」を提出した旨の報告があった。
- ②川上運営委員長より、宮城県経済商工観光部長から学都仙台コンソーシアム関係会議等への参加について依頼があり、過日の運営委員会においてサテライトキャンパス部会に検討を付託した旨の報告があった。

以上